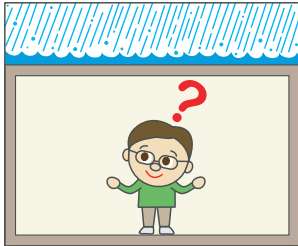


地下空間における^{しん すい}浸水の危険性

地下街等の地下空間で^{しん すい}浸水が発生すると、狭い空間に一気に水が流れ込むことで急激に水位が上昇する、停電等により方向感覚を失う、流入する水圧により^{ひなん}避難行動に困難を伴うなど、地表と異なる特性があり、特に注意が必要です。

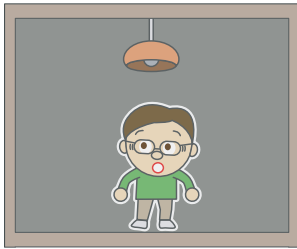
地下空間では外の様子がわかりません



インターネットやTV、ラジオ、防災メール等の手段により、気象・防災情報を入手しましょう。

洪水等の危険性が高まった際には、館内放送等により^{ひなん}避難情報が通知されることがありますので、注意しましょう。

^{しん すい}浸水すると停電するおそれがあります



^{しん すい}浸水時には停電の可能性がありますので、エレベータ等は使用しないようにしましょう。

万一停電した場合に備え、^{ひなん}避難経路を予め確認しておきましょう。

地上が冠水すると一気に水が流れ込んできます



階段を流入する水の深さが30cm程度で歩行困難になるといわれています。^{しん すい}浸水のおそれのある時は、早めに^{ひなん}避難行動をとりましょう。

あらかじめ複数の^{ひなん}避難経路を確認しておきましょう。

水圧でドアが開きません



アンダーパスにも注意しましょう。

周囲と比べて低く、水が集まりやすいアンダーパスは、大雨の時などには冠水しやすく、足を取られたり、自動車が立ち往生して死亡事故につながる危険性がありますので、十分注意しましょう。

